

おはようございます

株式会社あぐりライフ信州諏訪

すわか燃料センター 千野 裕太

2017年に入組し、現在の部署は3年目です。ガスの保安点検やコンロ、レンジフードなど関連商品のご案内を担当しています。うれしかったのは、お客さまから「ありがとう」と言われた時と、器具をスムーズに修理できた時。業務を一から教えてくれた先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも自信を持って受け答えができるよう、商品知識・技術の習得に励んでまいります。

「ありがとう」と言われた時と、器具をスムーズに修理できた時。業務を一から教えてくれた先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも自信を持って受け答えができるよう、商品知識・技術の習得に励んでまいります。

健康 Q & A

間質性肺炎？ 自覚症状なし

Q 職場検診で間質性肺炎の疑いと言われました。自覚症状はありません。どうしたらいいですか？ (59歳、男性)

A 間質性肺炎は、肺炎といっても感染症ではありません。最初は総合診療科や呼吸器内科を受診することになるでしょう。患者の方の背景把握が重要です。年齢、咳嗽(せき)や呼吸困難などの自覚症状があるか、治療中あるいは治療が終了した疾患があるか、喫煙するかどうか、ペットを飼っているか、住居の状態はどうか、職歴や服薬歴なども詳細に聞き取ります。

間質性肺炎には原因が特定できる場合もあれば、そうでない場合もあります。いわゆる膠原病など、複数の臓器に起こる炎症が肺に発症した場合は、間質性肺炎の形をとりますし、抗がん剤や漢方薬など原因となりやすい薬剤や放射線治療の副作用としての肺炎や、ペットや自宅のカビなどが原因になり得る過敏性肺炎も、間質性肺炎の形をとることが多いです。

検査としては胸部CT検査と血液検査が必要です。それだけでは診断がつかない場合は気管支鏡検査や、呼吸器外科での外科的肺生検が必要になることもあります。

間質性肺炎は、その原因にもよりますが、基本的には難病です。ステロイドという、免疫を抑制する薬剤を使用する場合と使用してはいけない場合があります。禁煙が絶対に必要です。自覚症状がなくても、必ず精密検査を受けてください。

(JA長野厚生連長野松代総合病院 呼吸器内科部長 横関万里)

お知らせボード

★「長野県のおいしい食べ方」プレゼントキャンペーン

JA長野県が運営するウェブマガジン「長野県のおいしい食べ方」は、毎月2回、プレゼントキャンペーンを実施しています。今月前半は13日(火)まで。クイズに答えてWebの応募フォーム(右下のQRコード*)からお申し込みいただいた方から抽選で5人にJA中野市の「さくらんぼ」=写真=をプレゼントします。詳細は同マガジンでご確認ください。

*電話・はがきの応募は受け付けていません。また、ガラケーは対応していません。スマホから応募ください。



持続可能な地域社会へ JAは取り組んでいます

- 2 飢餓をゼロに
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
15 陸の豊かさも守ろう
17 パートナリシップで目標を達成しよう

豊かな産地は土づくりから

畝を立てつつマルチを張っていく。トラクターを運転しているのが新村栄司さん。後からシートを整えているのが父の富司さん。



JA信州うえだ・菅平高原

冬場はスキー、グリーンシーズンがピークを過ぎ、としたスポーツ合宿でにぎわう菅平高原。5月の連休前、新村栄司さんは父・富司さんとレタス畑のマルチシート張りについて決めた混合肥料を施して、ならしておいた畑です。マルチチャーと呼ばれるマルチシートを張る装置を後ろに取り付けたトラクター

前年秋から着手 10アールに堆肥2ト 連作障害避ける工夫も

が、2列ずつ畝を作りながらシートをかぶせ、畝間には土を置いてシートをpushきしていきます。11月初めまで続く栽培シーズンの幕開けです。畑の土づくりは前年の収穫後から始まっています。最初



新村栄司さん

に行うのは堆肥入れ。10アールあたり2トダンブ1台分を投入します。マニアスプレッターと呼ばれる散布専用の機械があります。新村さんの場合、レタスを中心に栽培面積は4

ン麦を利用することもありません。新村さんは、一部でハクサイやリーフレタスを作っていますが、中心はレタスで連作が避けられないため、障害を抑える効果も期待しています。麦の種をまいて約1カ月

る堆肥は同40台分に。堆肥は豚、牛、鶏の畜ふんを元にした製品を購入しているそうです。畑によっては緑肥としてエ

高さ30〜40センチに育ったエン麦を堆肥と一緒にすき込みます。農家によっては、さらに専用の土壌改良剤を追加する場合もあるそうです。こうした準備を重ねた上でのマルチ張りです。続いてレタスの苗を植え、今月半ばには最初の出荷。以降、降水量の多寡などを見ながら季節ごとに品種を変え栽培していきます。新村さんは6種類くらい。中には10種類以上作付けし、リスク分散を図る農家もあるそうです。

農業機械を動かす燃料代を含めて資材高騰の影響は農業現場も例外ではありません。土づくりをはじめ一連の農作

堆肥 ペレット化で利用促進

土づくりに有効な堆肥の投入を、より広く普及させようと、JA佐久浅間が取り組んでいるのが、圧縮・乾燥して粒状のペレットに加工した肥料や土壌改良剤の商品化です。2021年からプロジェクトを組み、昨年、堆肥を30%入れた指定混合肥料「望ちゃん」を発売。続いて今春、100%堆肥の「もちづき有機ペレット」の商品化にこぎ着けました。同JA営農経済部の清水浩文営農企画課長と荻原雅彦生産資材課長に、商品化に至る経緯を聞きました。

JA佐久浅間 担当者に聞く

もともとは同JA管内にあった望月町が、佐久市に合併する前の2002年、町内の酪農家の要望を受けて、家畜の排せつ物処理施設を造ったのが始まりでした。施設(土づくりセンター)の運営を引き受けたJAは、製造した堆肥を同年以降、「もちづき有機」として販売してきました。ただ、堆肥の散布には専用



堆肥を製造する「土づくりセンター」内に設置したペレットマシン

の機械が必要ですが、小規模な農家が保有するには負担で、広がりには欠けていました。そこで、ペレット化することで手軽に利用できるように、同JAの高柳利道副組合長の首領でプロジェクトがスタートしました。牛ふんベースの堆肥「もちづき有機」を30%混ぜた「望ちゃん」は、JA全農長野の紹介で専門の肥料メーカーに製造を委託。鶏ふんや米ぬかなども加えることで、化学肥料の割合を従来商品の6割にとどめたことでコストを抑え、22年度は1500袋(1袋20kg)の目標に対し2000袋を販売しました。堆肥100%の「もちづき有機ペレット」は、専用のペレットマシンと乾燥機を土づくりセンターに設置して独自に製造しました。「水分の調整など思った以上に手がかかった」そうですが、3月に試験販売に入ることができました。5月から本格販売に入っています。

食と農で地域に笑顔をつくります 次代につなげる農業・組織・経営基盤の確立



JA長野中央会 営農農政部 〒380-0826 長野市北石堂町1177-3 TEL.026-236-2030 FAX.026-236-2008

いいJAん! 信州 https://www.ijan.or.jp/

長野県のおいしい食べ方 公式Twitter

